

令和5年度 第3回 太良高等学校 学校運営協議会 議事録

1 会議名 佐賀県立太良高等学校 学校運営協議会（第3回）

2 開催期日 令和5年9月1日（金）14時30分～16時

3 開催場所 太良町中央公民館視聴覚室

4 出席者

（1）委員

会長 塚本 一茂 太良町教育委員会社会教育課国民スポーツ大会推進係長

副会長 行平 真也 総務省地域力創造アドバイザー 九州産業大学地域共創学部地域づくり学科講師

〃 末次 尚子 太良町教育委員会学校教育課指導主事

〃 中村 秀貴 太良町社会福祉協議会総務係長

〃 古賀 龍貴 太良町観光協会職員

〃 高松 謙二 太良町社会福祉協議会監事 玉泉福祉会いふく保育園理事、主任児童委員

〃 澤 光樹 竹崎観世音寺住職

〃 秀島 寛 太良町消防団団長 たらふる会会長

〃 池田 清哉 多良岳を愛する会会長

〃 樋口 直美 良高校PTA副会長

〃 緒方 康二 太良高等学校長

（2）事務局

杉光 政実 教 頭

藤家亜矢子 事 務 長

副島 博孝 主幹教諭

津村 聡 企画研修主任

中村 洋介 教務主任

堤 恒範 企画研修部員 2年学年主任

原口 正裕 企画研修部員

森 泰樹 J R C部顧問

馬場 直子 地域連携支援員

5 学校長挨拶

省略

4 報告

(1) SAGA2024 国スポ・全障スポについて

【報告】

- ・太良町で行われる国スポはソフトボールであり、ボランティアに参加する生徒はリハーサルと本大会が同じ人物のボランティアが望ましい。
- ・手話で情報支援をする補助員が必要とされており、本校の「手話」選択者で対応する。
- ・残念ながらボランティアの募集に対して、生徒が意欲的に手をあげる雰囲気ではなく、人員不足の状態である。

【意見】

- ・かつてのサッカーワールドカップの際のように、「後でボランティアやっておけば良かった」と後悔する声を聞いたことがある。国スポのボランティアも十分に生徒に説明を行うことで参加者が出るのではないか。
- ・国スポのボランティアでは、通常の観客が入れない場所に入れたり、記念のオリジナルキャップが貰えたり、などの魅力をアピールしたい。
- ・ボランティア参加証明書などの発行も必要である。ボランティア活動時間も表記がいる。

(2) 太良町との連携活動について

○太良町たらふくマルシェ、太良町文化祭

【報告】太良町たらふくマルシェについて

- ・前回の学校運営協議会では、太良高校の前期期末試験期間中と重なるため、生徒を参加させることは困難である、との見解であったが、「有明海学」「発達と保育」「家庭科」の授業を選択している生徒に授業の一環として学習活動として参加させ、教育効果と評価をする形を考えている
- ・参加ブースの具体的な内容として、前回提案頂いた有明海の生物と触れ合う「タッチプール」については予算的に困難であり、また、生物が死んでしまう可能性もあるのということで展示は見送られた。代替案としては太良高校側からは輪投げ、グラスにサンドブラストで模様を描く記念品作成などが提案され、来訪者の数は 200～300 人を想定。記念品代としては 8～10 万円ぐらいを想定しており、来訪者にお金を払ってもらう必要がある。
- ・太良町観光協会からファイル等のノベルティやグッズ等の提供も申し出があった。

【報告】太良町文化祭について

- ・太良町文化祭への参加は太良高等学校の授業で何を学んでいるのか、小中学生に知ってもらうための良い PR の機会として高校側はとらえている。よって幼稚園生、小中学生が来ている時間帯が望ましく、内容としては「手話」「神楽」「吹奏楽部」などが考えられている。
- ・機材の運搬時に楽器が雨に濡れないように必ず箱のあるトラックが必要であり、トラックのレンタル代が 24 時間で約 2 万円掛かることが懸念事項として示された。対応策として太良町のトラックが借りられないか、との提案が委員から提示された。

(3) 太良高校の諸活動について

○佐賀県立太良高等学校 SAGAコラボレーションスクール成果発表会について

【報告】

- ・太良高校が昨年行った成果発表会について太良高校側から、「今年は昨年とは異なるものを出したい」との意向が出された。委員からの来客者への希望に関する質問に対しては、近隣の小中学生や県内の中学生、できれば近隣地区の方々に自由に来てもらいたいとの返答があった。
- ・昨年度は、成果発表会に太良町の販売促進会に来てもらったが、今年度も開催したいこと、学校運営協議会と日時を合わせれば、協議会の方々も見ることができ、子どもたちにも良い緊張感を与えることができるのでは、との提案もなされた。

5 協議（意見交換）

(1) 協議テーマ

太良高校生がボランティア活動に参加する際、より積極的に取り組めるようなシステムを作り、生徒の多様な学びにつなげ、生徒の成長を促すとともに、学校の魅力を高め、太良町の活性化に貢献することはできないか。

(2) 事務局より説明

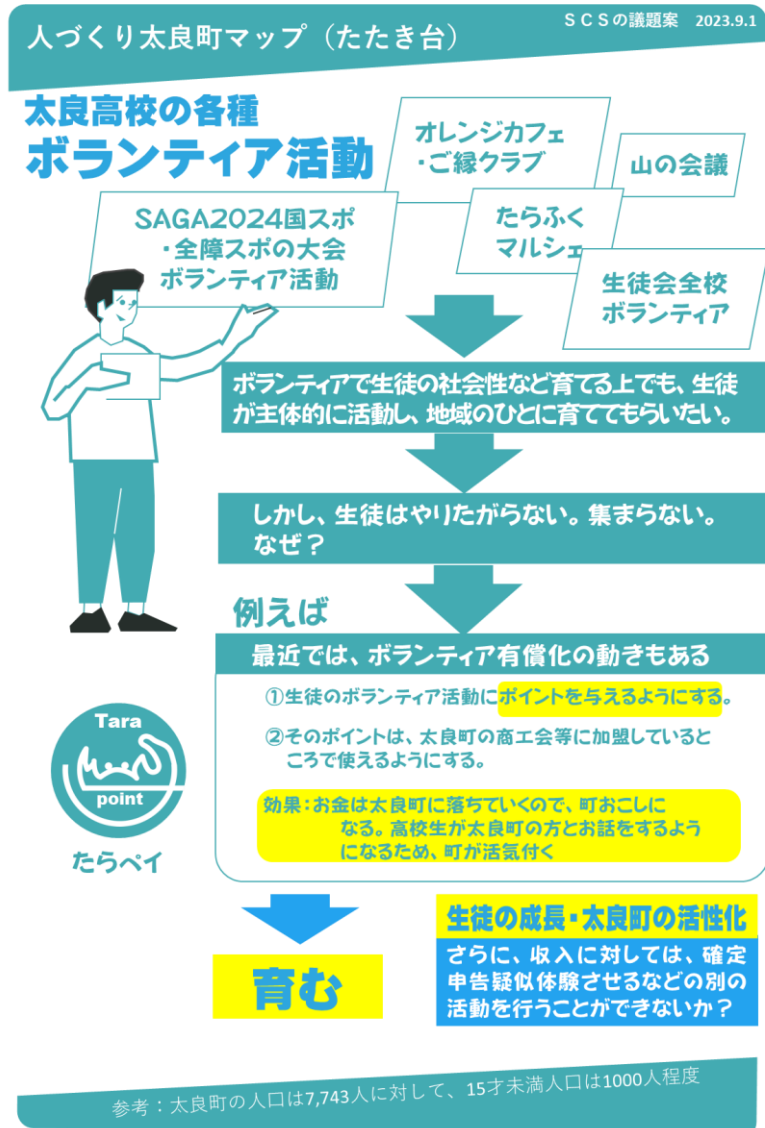
「ボランティアで、例えばポイントが貰え、太良町の商工会に加盟しているところで使える仕組みを作る」このことについて自由に意見をいただきたい。

【説明】

- ・高校側から、ボランティアを強制するのではなく、生徒が積極的にボランティアに出ていく仕掛けを作る必要があること、そのためにボランティア証明書を出したり、ポイントを出して太良町の商工会に加盟している店で使えるようにしたりできないか、とのたたき台の提示があった。

【意見】

- ・ボランティア証明書については、社会福祉協議会で以前に他校で出した実績があるとの事であった。



- ・ポイントなど有償ボランティアが出てくると、無償ボランティアに行かなくなるのではないかと懸念も出されたが、日程や作業内容を自分で決められるのが無償ボランティア、依頼側に決められているものが有償ボランティア、という決定権による住み分けをすることで解消できる、との案が示された。また、福祉関係や養護関係はとにかく人材不足で、有償でも良いからボランティアに来てもらいたい実情が示され、そのボランティアがきっかけで太良高校から福祉や地元企業と触れ合う機会を作り、地元への就職へ繋げたいとの意見も出された。

- ・ポイント制については、委員から太良町の「Happy Card」という500円のクーポン券があり、商工会が発行しているものを利用できないか、との提案があった。財源については、社会福祉協議会の方から、社会福祉法人の利益の一部を社会貢献に還元する制度ができたので、ボランティアなどで太良高校生が福祉系と繋がってくればそれが財源に繋がる可能性を示された。

6 生徒会からの報告

○校則検討委員会の報告

服装ではポロシャツの導入に賛成が多かったこと。頭髮に関しては、現状は厳しい校則であり、髪型ごとの記載はやめた方がよい、との意見があったこと。アルバイトについては、保護者が管轄すべきであるが、非行などに繋がる可能性もあるため、学校と協力して届け出制が良いのでは、との意見などが示された。

協議会の方でも校則を見てみたい、とのことで次回、高校が用意することとなった。

また、完全に私服にしまうと選択肢がありすぎて、家庭に金銭的負担がかかる、との意見もあった。

7 指導助言

- ・佐賀県教育委員会事務局教育振興課指導主事 細國 真紀 様
省略

8 まとめ

○たたき台「人づくり太良町マップ」について

- ・社会福祉協議会では持ち帰り、検討したいとのことであった。また、事業費等のことについては、福祉施設等の事業所に聞き取りを行いたいとのことであった。
- ・副会長からも、非常に面白い取り組みで、太良町の人口等から見ても、実現する可能性が高いことなどの説明があった。
- ・太良町商工会の委員様が途中退席であったため、商品券等については次回の委員会でご意見を頂きたい。